

## &lt;気温経過と生育&gt;

ニホンナシは昨年11月中旬から12月上旬の高温の影響により生育が遅れ、生育予測モデルにおける**自発休眠明けは1月30日～2月1日頃と平年に比べて9日遅かった。**

自発休眠明け後（多発休眠期）は、2月・3月の高温により生育が促進され、**3月29日現在、「幸水」の発芽は3月25日（平年4/4）、「豊水」の鱗片脱落期は3月29日（平年4/8）で、平年に比べて10～11日早い。**

## &lt;生育予測&gt;

3月29日時点のニホンナシ主要品種の開花予測を以下の表に示した。今後の気温の推移が平年に対して $-1^{\circ}\text{C}$ 、平年並み、 $+1^{\circ}\text{C}$ 、 $+2^{\circ}\text{C}$ であった場合それぞれに分けて開花の予測日を算出した。

**3月25日発表の1か月予報では、気温は平年よりも高い確率は70%である。今後の気温が平年よりも $2^{\circ}\text{C}$ 高く推移した場合、開花はじめは平年より10～11日早まると予測された。**

なお、ニホンナシの生育は今後の気象により大きく変化し、開花期に近づくほどその影響を強く受ける。今後の気象の推移や、実際の生育に注意する。

表1 令和3年3月29日時点での「幸水」、「豊水」開花日の予測値

今後の気温	幸水		豊水	
	開花日	満開日	開花日	満開日
平年より $-1^{\circ}\text{C}$	4/16 (-5)	4/20 (-4)	4/12 (-6)	4/16 (-5)
平年	4/14 (-7)	4/18 (-6)	4/11 (-7)	4/14 (-7)
平年より $+1^{\circ}\text{C}$	4/12 (-9)	4/15 (-9)	4/9 (-9)	4/13 (-8)
平年より $+2^{\circ}\text{C}$	4/11 (-10)	4/13 (-11)	4/8 (-10)	4/11 (-10)
平年値	4/21	4/24	4/18	4/21
令和2年実測	4/22	4/24	4/17	4/20

表2 令和3年3月24日時点での「南水」、「二十世紀」開花日の予測値

今後の気温	南水		二十世紀	
	開花日	満開日	開花日	満開日
$-1^{\circ}\text{C}$	4/11 (-6)	4/15 (-5)	4/13 (-6)	4/17 (-5)
平年	4/9 (-8)	4/13 (-7)	4/11 (-8)	4/15 (-7)
$+1^{\circ}\text{C}$	4/8 (-9)	4/12 (-8)	4/9 (-10)	4/13 (-9)
$+2^{\circ}\text{C}$	4/7 (-10)	4/10 (-10)	4/8 (-11)	4/11 (-11)
平年値	4/17	4/20	4/19	4/22
令和2年実測	4/16	4/18	4/18	4/21

予測には発育速度モデル(DVR法)を利用している。予測は南信農業試験場内の調査樹のデータをもとにした。

予測日の()内は平年値との差を表す。(2)なら平年よりも2日遅い。

平年値は場内での平成3～22年(1991～2010年)の発芽日、開花日、満開日の平均を表す。